



# 地区社協&トモニー

地区社協と共に

Vo1. 02

“地区社協&トモニー”は、地区社協へ向けて区社協が発信する、不定期のトピックス！  
トモニーの名前の由来のように、『共に』歩み、『共に』福祉を進めていきたいと願って・・・。

編集：南区社協 TEL260-2510

## \* \* \* 地区社協研修ダイジェスト \* \* \*

今回の地区社協&トモニーは、平成20年12月10日に開催された地区社協研修会の様子をレポートします！  
講師は、NHK番組「ご近所の底力」にもご出演されている木原孝久先生（住民流福祉総合研究所代表）  
軽快なトークに、3時間の研修があつという間！でも、考えさせられることの多い研修内容でした。



### 第1部 講義

地区社協が地域の支えあいを推進するために、今、何をすべきか？

#### ★あちこちにあるさまざまな「すき間」

- ・制度やサービスの「すき間」
- ・サービスが入って住民が手を引いたことにより出来た「すき間」
- ・学区の単位では「すき間」が生じてニーズが見えない。
- ・どこにいればニーズが見えるのか？  
→ご近所（30～50世帯の範囲）ならニーズが見える！



#### ★福祉は「自助」から始まる！

- ・「助けて！」と言われたら「助ける」という人：7割
- ・「助けて！」と言われなくても「助ける」という人：2割



「助けて！」と言える人は、なんと全体の3～5%しかいない！！

- ・ボランティア養成をしなくても、「助ける」という人は既に9割もいる！  
→困ったときに「助けて！」と言える人を育てよう！

#### ★ご近所には「世話焼き」さんがいる！

- ・「助けて！」と言われなくても「助ける」世話焼きさんがご近所にはいる。
- ・大物世話焼きさんはニーズを発見する資質を持っている。  
→あえて「福祉」と名付けない「ご近所福祉」が既に展開されている。

ニーズが見えるご近所の範囲で、世話焼きさん達が人知れずご近所福祉を展開している。

そこで、地区社協がなすべきことはコレだ！

#### ★地区社協の役割は世話焼きさんの「後方支援」！

- ・ご近所で世話焼きさんが発見したニーズの中には、世話焼きさんだけでは対応できないものもある。
- ・そんな時こそ、地区社協の出番！「ご近所福祉」の後方支援体制を整えておくこと！

## 第2部 演習

木原先生が用意した架空の地区の住民の情報を元に、住民の支えあいマップを作成。マップの中から要援護者等の「気になる人」を探し出し、より濃密な支えをどのように作り出すか、グループで討議をしました。

### ステップ1

マップの中に住民のつながりを記入していきます。



寝たきりの中村さんの所には、中田さんが遊びに来て、民生委員の玉田さんも訪問して・・・

### ステップ2

グループ毎に「気になる人」を探し、ご近所でどんな支えを作れるか、検討していきます。



奥さんが亡くなってから引きこもりがちの鈴木さんが心配だわ・・・

### ステップ3

みんなで検討した気になる人への関わり方を発表。



## \*\*\* 「さあ、世話焼きさんを見つけよう！」 \*\*\*

「誰もが住みやすいあたたかい町」の実現に向け、地区社協の役員の皆様には、日々ご尽力頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。

地区社協の皆様には地区社協の課題を伺うと、第一に挙げられるのは「人材不足」の問題。また「これ以上地区社協の活動を広げられない」という声も・・・。

そんな中での今回の研修でした。ご近所の範囲で、世話焼きさんが一人一人にあったご近所福祉を展開していて、その活動を地区社協がバックアップするという関係があると、「住み慣れた地域で最後まで暮らしたい」という一人一人の願いを実現することが出来そうな気がしてきます。

さあ、皆さんの近所で人知れず活動している「世話焼きさん」を探してみませんか？

今までとは全く異なる視点からのお話に、ちょっと戸惑いもありましたが、これからの地域福祉を考える上で、非常に多くの刺激を受ける研修となりました。

